



## EFI ColorGuard の使用上の注意

本書には、EFI ColorGuard のリリースに関する重要な情報が記載されています。すべてのユーザーにこの情報を提供してください。

EFI IQ クラウドアプリケーション (iq.efi.com) スイートのアプリケーションである EFI ColorGuard では、特定のシステムを検証する時間にオペレーターに対して自動的にプロンプトを表示するカラー検証スケジュールを作成します。オペレーターはカラーをすばやく簡単に確認でき、結果はプロダクションマネージャーがレビューできるように自動的にアップロードされます。Fiery Driven デバイスが一贯したカラー品質を提供できるように、個々の検証の詳細、複数のデバイスの比較、検証の経時的な傾向を確認できます。また、EFI ColorGuard では、オンデマンドの再キャリブレーションやスケジュールされた再キャリブレーションを行うと、失敗と判定された結果が成功に変わることもあります。

EFI ColorGuard は、以下のように構成されています。

- <https://iq.efi.com/colorguard/>の EFI ColorGuard クラウドアプリケーション
- EFI ColorGuard デスクトップアプリケーション

**メモ:** EFI ColorGuardWeb サイトは定期的にアップデートされます。このリリースノートでは、EFI ColorGuard のすべてのリリースが取り上げられています。



# EFI ColorGuard 2023 年 5 月リリース

## システム要件

EFI ColorGuard は、<https://iq.efi.com/colorguard/>にあるクラウドアプリケーションと EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションで構成されています。

<https://iq.efi.com/colorguard/>の ColorGuard クラウドアプリケーションは、以下のブラウザをサポートしていません。

- Google Chrome
- Microsoft Edge
- Mozilla Firefox
- Safari 11 以降

ColorGuard デスクトップアプリケーションは、以下の 64 ビットオペレーティングシステムをサポートしています。

- macOS 10.13 以降
- Microsoft Windows 7、8.1、10、11

## このリリースの新機能

### EFI ColorGuard

- 管理者権限またはサポート権限を持つユーザーの場合はスケジュールの一時停止および再開をサポートします。
- IQ-501 デバイスを搭載した Konica Minolta プリンターの場合は G7 Verifier パッチセットをサポートします。

### Fiery Verify

- 校正出力 (ISO 12647-7:2013) の単一ページラベル – Wedge および ISO 12647-7 校正出力「Media Wedge」の許容値セットをサポートします。単一ページラベルでは、最大 CMYK 値が除外されます。
- Fiery XF または Fiery proServer では以前に測定したサンプルの再測定をサポートします。

## 修正された問題

### EFI ColorGuard web アプリケーション

#### 複数の許容値セットの保存

同じ名前でも、後ろにスペースを入れれば複数の許容値セットを保存できていました。

#### 現在の日付データが表示されなかった

履歴およびトレンドに現在の日付を含むカスタム日付範囲を入力すると、現在の日付の検証状況および結果データが表示されていませんでした。

### EFI ColorGuard デスクトップアプリケーション

#### ColorGuard デスクトップアプリケーションのオンラインヘルプ

ColorGuard デスクトップアプリケーションで、ヘルプをクリックすると、リンク先が正しくないエラーが表示されました。

#### 検証スケジュールを実行できない

EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションで、カスタムリファレンスとパッチセットを使用して検証スケジュールを実行すると、アプリケーションが予期せず終了しました。

#### 履歴がアップデートされない

2つの異なるマシンで EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションにログインしてスケジュールを実行すると、両方のマシンで同時に履歴がアップデートされませんでした。

#### ColorGuard デスクトップアプリケーションが予期せず開いた

EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションで、プロンプトを表示せずに開いてしまうことがありました。

#### 検証が 2 回行われた

IQ-501 デバイスを搭載した Konica Minolta プリンターの一部で、検証が成功した後も再度検証スケジュールのスキャンを開始していました。

## Fiery Verify

#### 許容値セットの複製と編集ができない

Fogra PSD 2018 並列の許容値セットを複製および編集しようとする、Fiery Verify が応答を停止していました。

## 許容値セットのエントリがブランクで表示されていた

以下の場合には最初の許容値セットのエントリが許容値セットのリストにブランクで表示されていました。

- 許容値セットエディターでカスタム許容値セットを削除した場合
- 許容値セットエディターでカスタム許容値セットを追加した場合

## 既知の問題

### EFI ColorGuard web アプリケーション

#### ILS スケジュールを実行できない

EFI ColorGuard の web アプリケーション v1.5.5 以前で ILS スケジュールを作成すると、EFI ColorGuard デスクトップアプリケーション v1.5.6 ではスケジュール状況が保留と表示されますが、実行されません。

回避策として、以前に作成した ILS スケジュールについて検証要求をクリックするか、新しいスケジュールを作成します。

#### FACI 使用時にスケジュールが削除されない

Fiery server が FACI (Fiery Advanced Controller Interface) を使用している場合、スケジュールは、スケジュールウィンドウから削除しても元に戻ってしまいます。ただし、web ページをリフレッシュすると、スケジュールは完全に削除されます。

#### 平均 $\bar{x}$ E 検証トレンドがブランクで表示される

履歴およびトレンドで日付範囲を選択すると、平均  $\bar{x}$ E 検証トレンドのデータが表示されません。

#### デバイス名の表示遅延

スケジュール作成を選択すると、検証スケジュールオプションとキャリブレーションスケジュールオプションでデバイス名の表示に時間がかかります。

#### 検証結果に円グラフが表示されない

履歴およびトレンドで日付範囲を変更したり、ページをリフレッシュしたりすると、検証結果に円グラフが表示されません。

### EFI ColorGuard デスクトップアプリケーション

#### 複数の Fiery Verify ウィンドウが開く

履歴 – 過去 30 日間ページでは、複数の Fiery Verify 結果ウィンドウを開くことができるようになっています。

## Mac コンピューターのエラーメッセージ

Mac コンピューターでは、2 バイト文字のユーザー名で EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションにサインインすると、エラーメッセージが表示されます。

## エラージョブのスケジュール名が表示されない

EFI ColorGuard web アプリケーションで ILS ワークフローのスケジュールを作成すると、指定した時刻に EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションでスケジュールがトリガーされます。ジョブがエラー状況に移動し、EFI ColorGuard web アプリケーションでスケジュールを削除して EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションを開くと、エラージョブのスケジュール名が表示されません。

## 検証プリセットが複製される

EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションにサインインして Fiery Color Profiler Suite から Fiery Verify を開くと、Windows コンピューターでは G7 グレースケール検証プリセットが、Mac コンピューターではすべての検証プリセットが複製されます。

## 無効なジョブのプロパティプリセット設定により、間違ったエラーメッセージが表示される

EFI ColorGuard クラウドアプリケーションで自動検証を選択してスケジュールを作成しており、スケジュールに特定のジョブのプロパティプリセット設定が含まれている場合、自動検証中にインライン測定デバイスへの接続に失敗したというメッセージが EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションに表示されることがあります。このメッセージは正しくありません。

メッセージは、インライン測定デバイスに現在のジョブプロパティのプリセット設定との互換性がないと表示する必要があります。

## Fiery Verify

### 表示言語が正しくない

オペレーティングシステムのローカル言語を変更した後に、スタンドアロンのアプリケーションで、または Fiery Color Profiler Suite から Fiery Verify を開くと、Fiery Verify がデフォルトの英語で表示されてしまいます。これを回避するには、EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションを開いた後で、スタンドアロンのアプリケーションで、または Fiery Color Profiler Suite から Fiery Verify を開きます。



# EFI ColorGuard 2022 年 11 月リリース

## システム要件

EFI ColorGuard は、<https://iq.efi.com/colorguard/>にあるクラウドアプリケーションと EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションで構成されています。

<https://iq.efi.com/colorguard/>の ColorGuard クラウドアプリケーションは、以下のブラウザをサポートしています。

- Google Chrome
- Microsoft Edge
- Mozilla Firefox
- Safari 11 以降

ColorGuard デスクトップアプリケーションは、以下の 64 ビットオペレーティングシステムをサポートしています。

- macOS 10.13 以降
- Microsoft Windows 7、8.1、10、11

## このリリースの新機能

### EFI ColorGuard

- Fogra PSD および G7 許容値セット等の EFI ColorGuard の web アプリケーションでの許容値設定の複製をサポート。
- EFI ColorGuard の web アプリケーションの G7 および Fogra PSD 許容値設定の制限付き編集機能をサポート。これまで、これらの許容値設定は編集できませんでした。
- EFI ColorGuard の web アプリケーションの情報を表示アイコンをクリックすると、許容値設定の詳細表示をサポート。
- 検証プリセットの新規作成オプションには、有効なカラー参照とパッチセットのみが表示されるようになります。
- macOS 13 をサポート。

### Fiery Verify

- カスタム許容値設定の削除をサポート。
- Fiery Verify での G7 および Fogra PSD 許容値設定の制限付き編集機能をサポート。これまで、これらの許容値設定は編集できませんでした。

## 修正された問題

### EFI ColorGuard デスクトップアプリケーション

#### Windows コンピューターで 2 バイト文字のユーザー名を使用する

Windows コンピューターでは、2 バイトのユーザー名で EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションにサインインし、履歴 - 過去 30 日間にある任意のワークフローの結果表示をクリックすると、エラーメッセージが表示されていました。

#### EFI ES-3000 および X-Rite i1i03 がリストになかった

キャリブレーションの Fiery Verify 結果ウィンドウから Fiery Calibrator を開くと、計器リストに EFI ES-3000 および X-Rite i1i03 が表示されていませんでした。ただし、キャリブレーションスケジュールまたは EFI ColorGuard の web アプリケーションから Fiery Calibrator を開くと、両方の計器が計器リストに表示されていました。

#### スケジュールを実行できなかった

自動的にインライン測定器で検証するオプションを有効にして、EFI ColorGuard の web アプリケーションで未サポートパッチセットおよび G7 ターゲット許容範囲セットを使用してカスタム検証プリセットを作成し、EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションでスケジュールを実行すると、エラーが発生していました。

#### 検証ワークフローが実施されていなかった

Mac コンピューターでは、2 バイト文字のユーザー名でサインインし、検証ワークフローで検証をクリックすると、エラーメッセージが表示されていました。

#### 履歴 - 過去 30 日間での時間遅延

EFI ColorGuard の web アプリケーションでスケジュールの即時要求オプションを選択し、EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションで同じスケジュールを実行すると、EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションの履歴 - 過去 30 日間では時間の遅延が発生していました。ただし、サインアウトしてサインインし直すと、スケジュールがアップデートされていました。

## 既知の問題

### EFI ColorGuard web アプリケーション

#### FACI 使用時にスケジュールが削除されない

Fiery server が FACI (Fiery Advanced Controller Interface) を使用している場合、スケジュールは、スケジュールウィンドウから削除しても元に戻ってしまいます。ただし、web ページをリフレッシュすると、スケジュールは完全に削除されます。

## 平均 E 検証トレンドがブランクで表示される

履歴およびトレンドで日付範囲を選択すると、平均  E 検証トレンドのデータが表示されません。

## デバイス名の表示遅延

スケジュール作成を選択すると、検証スケジュールオプションとキャリブレーションスケジュールオプションでデバイス名の表示に時間がかかります。

## 検証結果に円グラフが表示されない

履歴およびトレンドで日付範囲を変更したり、ページをリフレッシュしたりすると、検証結果に円グラフが表示されません。

## EFI ColorGuard デスクトップアプリケーション

### 複数の Fiery Verify ウィンドウが開く

履歴 - 過去 30 日間ページでは、複数の Fiery Verify 結果ウィンドウを開くことができますようになっています。

### Mac コンピューターのエラーメッセージ

Mac コンピューターでは、2 バイト文字のユーザー名で EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションにサインインすると、エラーメッセージが表示されます。

### エラージョブのスケジュール名が表示されない

EFI ColorGuard web アプリケーションで ILS ワークフローのスケジュールを作成すると、指定した時刻に EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションでスケジュールがトリガーされます。ジョブがエラー状況に移動し、EFI ColorGuard web アプリケーションでスケジュールを削除して EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションを開くと、エラージョブのスケジュール名が表示されません。

### 検証プリセットが複製される

EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションにサインインして Fiery Color Profiler Suite から Fiery Verify を開くと、Windows コンピューターでは G7 グレースケール検証プリセットが、Mac コンピューターではすべての検証プリセットが複製されます。

### 無効なジョブのプロパティプリセット設定により、間違ったエラーメッセージが表示される

EFI ColorGuard クラウドアプリケーションで自動検証を選択してスケジュールを作成しており、スケジュールに特定のジョブのプロパティプリセット設定が含まれている場合、自動検証中にインライン測定デバイスへの接続に失敗したというメッセージが EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションに表示されることがあります。このメッセージは正しくありません。

メッセージは、インライン測定デバイスに現在のジョブプロパティのプリセット設定との互換性がないと表示する必要があります。



## Fiery Verify

### 表示言語が正しくない

オペレーティングシステムのローカル言語を変更した後に、スタンドアロンのアプリケーションで、または Fiery Color Profiler Suite から Fiery Verify を開くと、Fiery Verify がデフォルトの英語で表示されてしまいます。これを回避するには、EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションを開いた後で、スタンドアロンのアプリケーションで、または Fiery Color Profiler Suite から Fiery Verify を開きます。



# EFI ColorGuard2022 年 8 月リリース

## システム要件

EFI ColorGuard は、<https://iq.efi.com/colorguard/>にあるクラウドアプリケーションと EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションで構成されています。

<https://iq.efi.com/colorguard/>の ColorGuard クラウドアプリケーションは、以下のブラウザをサポートしていません。

- Google Chrome
- Microsoft Edge
- Mozilla Firefox
- Safari 11 以降

ColorGuard デスクトップアプリケーションは、以下の 64 ビットオペレーティングシステムをサポートしていません。

- macOS 10.13 以降
- Microsoft Windows 7、8.1、10、11

## 修正された問題

### EFI ColorGuard デスクトップアプリケーション

#### Windows コンピューターで 2 バイト文字のユーザー名を使用する

Windows コンピューターでは、2 バイト文字のユーザー名でログインすると EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションの応答がありません。

#### Fiery Verify ウィンドウが EFI ColorGuard ウィンドウの背後で開いていた

履歴 – 過去 30 日間で、複数のスケジュールの結果表示をクリックすると、最初の Fiery Verify 結果ウィンドウは前面に表示されましたが、他の結果ウィンドウは EFI ColorGuard ウィンドウの背後で開いていました。

#### Fiery Verify がブランクで開く

履歴 – 過去 30 日間で結果表示をダブルクリックすると、Fiery Verify がブランクで開いていました。

## EFI ColorGuard web アプリケーション

### カスタム許容値セットの複製ができない

検証プリセットウィンドウの許容値セットタブにあるカスタム許容値セットを複製できませんでした。

## Fiery Verify

### G7 グレースケールおよび Fogra PSD 許容値セットで複製オプションが有効になった

許容値セットエディターウィンドウでは、すべての G7 グレースケールおよび Fogra PSD 許容値セットで複製オプションが有効になりました。

## 既知の問題

## EFI ColorGuard web アプリケーション

### FACI 使用時にスケジュールが削除されない

Fiery server が FACI (Fiery Advanced Controller Interface) を使用している場合、スケジュールは、スケジュールウィンドウから削除しても元に戻ってしまいます。ただし、web ページをリフレッシュすると、スケジュールは完全に削除されます。

### 平均 E 検証トレンドがブランクで表示される

履歴およびトレンドで日付範囲を選択すると、平均 E 検証トレンドのデータが表示されません。

### デバイス名の表示遅延

スケジュール作成を選択すると、検証スケジュールオプションとキャリブレーションスケジュールオプションでデバイス名の表示に時間がかかります。

### 検証結果に円グラフが表示されない

履歴およびトレンドで日付範囲を変更したり、ページをリフレッシュしたりすると、検証結果に円グラフが表示されません。

## EFI ColorGuard デスクトップアプリケーション

## スケジュールを実行できなかった

自動的にインライン測定器で検証するオプションを有効にして、EFI ColorGuard の web アプリケーションで未サポートパッチセットおよび G7 ターゲット許容範囲セットを使用してカスタム検証プリセットを作成し、EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションでスケジュールを実行すると、エラーが発生していました。

## EFI ES-3000 および X-Rite i1iO3 がリストになかった

キャリブレーションの Fiery Verify 結果ウィンドウから Fiery Calibrator を開くと、計器リストに EFI ES-3000 および X-Rite i1iO3 が表示されていませんでした。ただし、キャリブレーションスケジュールまたは EFI ColorGuard の web アプリケーションから Fiery Calibrator を開くと、両方の計器が計器リストに表示されていました。

## 複数の Fiery Verify ウィンドウが開く

履歴 - 過去 30 日間ページでは、複数の Fiery Verify 結果ウィンドウを開くことができるようになっています。

## Mac コンピューターのエラーメッセージ

Mac コンピューターでは、2 バイト文字のユーザー名で EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションにサインインすると、エラーメッセージが表示されます。

## Windows コンピューターで 2 バイト文字のユーザー名を使用する

Windows コンピューターでは、2 バイトのユーザー名で EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションにサインインし、履歴 - 過去 30 日間にある任意のワークフローの結果表示をクリックすると、エラーメッセージが表示されていました。

## エラージョブのスケジュール名が表示されない

EFI ColorGuard web アプリケーションで ILS ワークフローのスケジュールを作成すると、指定した時刻に EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションでスケジュールがトリガーされます。ジョブがエラー状況に移動し、EFI ColorGuard web アプリケーションでスケジュールを削除して EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションを開くと、エラージョブのスケジュール名が表示されません。

## 履歴 - 過去 30 日間での時間遅延

EFI ColorGuard の web アプリケーションでスケジュールの即時要求オプションを選択し、EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションで同じスケジュールを実行すると、EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションの履歴 - 過去 30 日間では時間の遅延が発生していました。ただし、サインアウトしてサインインし直すと、スケジュールがアップデートされていました。

## 検証プリセットが複製される

EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションにサインインして Fiery Color Profiler Suite から Fiery Verify を開くと、Windows コンピューターでは G7 グレースケール検証プリセットが、Mac コンピューターではすべての検証プリセットが複製されます。

## 検証ワークフローが実施されていなかった

Mac コンピューターでは、2 バイト文字のユーザー名でサインインし、検証ワークフローで検証をクリックすると、エラーメッセージが表示されていました。

## 無効なジョブのプロパティプリセット設定により、間違ったエラーメッセージが表示される

EFI ColorGuard クラウドアプリケーションで自動検証を選択してスケジュールを作成しており、スケジュールに特定のジョブのプロパティプリセット設定が含まれている場合、自動検証中にインライン測定デバイスへの接続に失敗したというメッセージが EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションに表示されることがあります。このメッセージは正しくありません。

メッセージは、インライン測定デバイスに現在のジョブプロパティのプリセット設定との互換性がないと表示する必要があります。

## ウェブサイトへの EFI ColorGuard デスクトップの同期化

ColorGuardWeb サイトで変更が行われた場合、EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションは同期化に 1 分かかります。デスクトップアプリケーションを更新するには、Web サイトで変更を行った後 1 分お待ちください。



# EFI ColorGuard 2022 年 7 月リリース

## システム要件

EFI ColorGuard は、<https://iq.efi.com/colorguard/>にあるクラウドアプリケーションと EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションで構成されています。

<https://iq.efi.com/colorguard/>の ColorGuard クラウドアプリケーションは、以下のブラウザをサポートしていません。

- Google Chrome
- Microsoft Edge
- Mozilla Firefox
- Safari 11 以降

ColorGuard デスクトップアプリケーションは、以下の 64 ビットオペレーティングシステムをサポートしています。

- macOS 10.13 以降
- Microsoft Windows 7、8.1、10、11

## このリリースの新機能

EFI ColorGuard

- EFI ColorGuardWeb アプリケーションのマルチテナントサインインをサポート。

## 修正された問題

### EFI ColorGuard デスクトップアプリケーション

#### キャリブレーションワークフロー完了後のエラー

日本語版 Windows コンピューターでは、キャリブレーションワークフローの完了後にエラーが表示されることがありました。

## Fiery Verify が開かない

ベンチマーク検証スケジュールまたはキャリブレーションスケジュールの実行直後に結果表示をクリックすると、Fiery Verify が開かず、エラーメッセージが表示されていました。

## 選択した日付範囲のデータ不一致

EFI ColorGuardWeb アプリケーションと EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションの選択した日付範囲で表示される履歴データが一致していませんでした。

## マウスポインターが使用中と表示されていました

Mac コンピューターの場合、EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションでマウスポインターが使用中と表示されていました。ただし、実行中のワークフローは継続できていました。

## 既知の問題

### EFI ColorGuard web アプリケーション

#### デバイス名の表示遅延

スケジュール作成を選択すると、検証スケジュールオプションとキャリブレーションスケジュールオプションでデバイス名の表示に時間がかかります。

#### 検証結果に円グラフが表示されない

履歴およびトレンドで日付範囲を変更したり、ページをリフレッシュしたりすると、検証結果に円グラフが表示されません。

### EFI ColorGuard デスクトップアプリケーション

#### 検証が 2 回行われる

IQ-501 ユニットを搭載した Konica Minolta プリンターの中には、検証が 2 回実施されるものがあります。

#### Fiery Verify がブランクで開く

履歴 - 過去 30 日間で結果表示をダブルクリックすると、Fiery Verify がブランクで開いていました。

#### エラージョブのスケジュール名が表示されない

EFI ColorGuard web アプリケーションで ILS ワークフローのスケジュールを作成すると、指定した時刻に EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションでスケジュールがトリガーされます。ジョブがエラー状況に移動し、EFI ColorGuard web アプリケーションでスケジュールを削除して EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションを開くと、エラージョブのスケジュール名が表示されません。

## 無効なジョブのプロパティプリセット設定により、間違ったエラーメッセージが表示される

EFI ColorGuard クラウドアプリケーションで自動検証を選択してスケジュールを作成しており、スケジュールに特定のジョブのプロパティプリセット設定が含まれている場合、自動検証中にインライン測定デバイスへの接続に失敗したというメッセージが EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションに表示されることがあります。このメッセージは正しくありません。

メッセージは、インライン測定デバイスに現在のジョブプロパティのプリセット設定との互換性がないと表示する必要があります。

## 変更が EFI ColorGuard にアップロードされない

Fiery Verify で作成または編集された検証プリセットと許容値セットは、EFI ColorGuard クラウドアプリケーションにアップロードされません。

## ウェブサイトへの EFI ColorGuard デスクトップの同期化

ColorGuardWeb サイトで変更が行われた場合、EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションは同期化に 1 分かかります。デスクトップアプリケーションを更新するには、Web サイトで変更を行った後 1 分お待ちください。





# EFI ColorGuard2022 年 6 月リリース

## システム要件

EFI ColorGuard は、<https://iq.efi.com/colorguard/>にあるクラウドアプリケーションと EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションで構成されています。

<https://iq.efi.com/colorguard/>の ColorGuard クラウドアプリケーションは、以下のブラウザをサポートしていません。

- Google Chrome
- Microsoft Edge
- Mozilla Firefox
- Safari 11 以降

ColorGuard デスクトップアプリケーションは、以下の 64 ビットオペレーティングシステムをサポートしています。

- macOS 10.13 以降
- Microsoft Windows 7、8.1、10、11

## 修正された問題

### EFI ColorGuard web アプリケーション

#### 検証プリセットの重複

検証プリセットタブをクリックすると、デフォルトの検証プリセットのみではなく、重複する検証プリセットが表示されていました。

#### スケジュール作成があった場所が誤ってクリック可能となっている

スケジュール作成オプションが以前表示されていたところにカーソルを合わせると、ブランクの場所なのにクリック可能として表示されていました。

#### G7 許容値設定のコピーオプション

新しい検証プリセットを作成すると、G7 許容値設定のコピーオプションがサポートされました。

## IQ-501 インライン測定デバイスのサポート

Konica Minolta プリンターが IQ-501 インライン測定デバイスに接続されていない場合でも、自動的にインライン測定で検証するオプションが表示されました。

### 一部のアイコンが破損している

EFI ColorGuard ダッシュボードでメニューをクリックすると、EFI Ink Assistant と Hogan のアイコンが破損して表示されていました。

### UI コンポーネントの配置エラー

サポートユーザーがスイッチアカウントオプションをクリックすると、一部の UI コンポーネントの位置が揃っていませんでした。

### 会社の切り替えオプションが EFI ColorGuard で使用できない

サポートユーザーは、一旦ログアウトしてからログインし直さなければ、EFI ColorGuard でアカウントを切り替えることはできませんでした。

### E メール通知のサブスクリプション解除リンク

検証状況メールの E メール通知のサブスクリプション解除リンクで、リンクが期限切れであるというメッセージが表示されていました。

### E メール警告が送信されない

スケジュールされた検証に関する E メール警告が送信されませんでした。ただし、EFI ColorGuard リンクが EFI IQ ページに移動しなかった場合は、成功または失敗の検証 E メールが送信されました。

### EFI ColorGuard デモで間違った詳細が表示される

EFI ColorGuard トライアルバージョンからサインアウトしてライブデモを試すをクリックすると、デモセッションにトライアルバージョンアカウントの実際のプリンター詳細が表示されました。また、期限切れのトライアルライセンスで EFI ColorGuard からサインアウトしてライブデモを試すをクリックすると、デモセッションにライセンスの有効期限メッセージが表示されました。

## EFI ColorGuard デスクトップアプリケーション

### ファイル記述子キーがアップデートされない

一部のプリンターの Japan Color Control Strip.it8 および IT8.7-5.it8 パッチセットでは、ファイル記述子キーがアップデートされませんでした。

### 保留ウィンドウのロード時間

EFI ColorGuard にサインインすると、保留ウィンドウがロードされるまで数分かかることがありました。

## 検証要求オプションが機能しない

検証スケジュールを作成した後に検証要求をクリックすると、スケジュールが EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションに表示されませんでした。

## 検証が 2 回行われる

IQ-501 ユニットを搭載した Konica Minolta プリンターの中には、検証が 2 回実施されるものがあります。

## 完了した検証要求が保留に表示される

完了した検証スケジュールが保留に表示されていました。ただし、EFI ColorGuard からサインアウトしてサインインし直すと、完了した検証要求スケジュールが保留に表示されないようになりました。また、履歴 - 過去 30 日間で表示をクリックすると、Fiery Verify ウィンドウが EFI ColorGuard ウィンドウの下に表示されていました。

## 複数ワークフローの結果表示

履歴 - 過去 30 日間で、複数のワークフローの結果表示をクリックすると、EFI ColorGuard が突然、終了してしまいます。

## 一部の測定デバイスが表示されない

Fiery Verify 検証結果ウィンドウでキャリブレーションをクリックしても、一部の測定デバイスが Fiery Calibrator ウィンドウに表示されませんでした。

## EFI ColorGuard ウィンドウが閉じられない

詳細アイコン（3 つのドット）をクリックして閉じるをクリックすると、EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションウィンドウが最小化されてしまい、閉じられませんでした。

## 完了した検証スケジュールやキャリブレーションスケジュールが保留に表示される

完了した検証スケジュールとキャリブレーションスケジュールが保留に表示され、履歴 - 過去 30 日間では完了となっていました。ただし、時刻が間違っていました。ただし、EFI ColorGuard からサインアウトし、サインインし直すと、履歴 - 過去 30 日間と保留のタブがアップデートされました。

## Fiery Verify が空白で表示される

履歴 - 過去 30 日間で、表示アイコンをクリックして Fiery Verify でスケジュールの状況と結果を確認すると、Fiery Verify ウィンドウが空白で表示されていました。

## Fiery Verify

### G7 グレースケールの検証プリセット

ページ測定用に G7 グレースケール検証プリセットを選択すると、Fiery Verify にエラーが表示されました。

## Fiery Verify ウィンドウが ColorGuard ウィンドウの下に表示される

検証スケジュールが完了した後、結果表示をクリックすると、ColorGuard ウィンドウの下に Fiery Verify ウィンドウが表示されました。

## 色域外パッチ平均値が計算されない

Fiery Verify 検証結果ウィンドウで、検証印刷 (ISO 12647-8:2012) 許容値設定の色域外パッチ平均値が計算されませんでした。

## EFI ColorGuard にログインしていなくても Fiery Verify が開く

EFI ColorGuard にログインしていない場合でも Fiery Verify が起動していました

## Fiery Verify での結果の表示遅延

履歴ウィンドウから Fiery Verify を開くと、結果がすぐに画面に表示されませんでした。

## 既知の問題

### EFI ColorGuard web アプリケーション

#### デバイス名の表示遅延

スケジュール作成を選択すると、検証スケジュールオプションとキャリブレーションスケジュールオプションでデバイス名の表示に時間がかかります。

#### 検証結果に円グラフが表示されない

履歴およびトレンドで日付範囲を変更したり、ページをリフレッシュしたりすると、検証結果に円グラフが表示されません。

### EFI ColorGuard デスクトップアプリケーション

#### Fiery Verify が空白で開く

履歴 - 過去 30 日間で結果表示をダブルクリックすると、Fiery Verify が空白で開いていました。

#### 検証スケジュールと履歴がアップデートされない

検証スケジュールと履歴 - 過去 30 日間は、EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションでアップデートされないことがあります。ただし、一旦サインアウトしてサインインし直すと、詳細情報がアップデートされます。

## エラージョブのスケジュール名が表示されない

EFI ColorGuard web アプリケーションで ILS ワークフローのスケジュールを作成すると、指定した時刻に EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションでスケジュールがトリガーされます。ジョブがエラー状況に移動し、EFI ColorGuard web アプリケーションでスケジュールを削除して EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションを開くと、エラージョブのスケジュール名が表示されません。

## 無効なジョブのプロパティプリセット設定により、間違ったエラーメッセージが表示される

EFI ColorGuard クラウドアプリケーションで自動検証を選択してスケジュールを作成しており、スケジュールに特定のジョブのプロパティプリセット設定が含まれている場合、自動検証中にインライン測定デバイスへの接続に失敗したというメッセージが EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションに表示されることがあります。このメッセージは正しくありません。

メッセージは、インライン測定デバイスに現在のジョブプロパティのプリセット設定との互換性がないと表示する必要があります。

## 変更が EFI ColorGuard にアップロードされない

Fiery Verify で作成または編集された検証プリセットと許容値セットは、EFI ColorGuard クラウドアプリケーションにアップロードされません。

## ウェブサイトへの EFI ColorGuard デスクトップの同期化

ColorGuardWeb サイトで変更が行われた場合、EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションは同期化に 1 分かかります。デスクトップアプリケーションを更新するには、Web サイトで変更を行った後 1 分お待ちください。



# EFI ColorGuard 2022 年 4 月リリース

## システム要件

EFI ColorGuard は、<https://iq.efi.com/colorguard/>にあるクラウドアプリケーションと EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションで構成されています。

<https://iq.efi.com/colorguard/>の ColorGuard クラウドアプリケーションは、以下のブラウザをサポートしていません。

- Google Chrome
- Microsoft Edge
- Mozilla Firefox
- Safari 11 以降

ColorGuard デスクトップアプリケーションは、以下の 64 ビットオペレーティングシステムをサポートしています。

- macOS 10.13 以降
- Microsoft Windows 7、8.1、10、11

## このリリースの新機能について

### EFI ColorGuard

- EFI ColorGuard の最新の Fogra PSD 2022 許容値プリセット（並列、用紙関連、スポットカラー）と検証プリセット（FOGRA51 - PSO Coated v3 + Fogra PSD 2022 用紙関連、FOGRA51 - PSO Coated v3 + Fogra PSD 2022 並列）をサポートします。Fogra Process Standard Digital (PSD) ハンドブック 2022 の基準および許容値定義に従いカラー精度を検証します。
- 2 つの新しい許容値プリセット（検証印刷（ISO 12647-8:2021） - ウェッジおよび検証印刷（ISO 12647-8:2021） - チャート）を EFI ColorGuard に追加しました。2021 バージョンの検証印刷（ISO 12647-8）に従いカラー精度を検証します。

### Fiery Verify

- Fiery Verify での最新の Fogra PSD 2022 許容値プリセット（並列、用紙関連、スポットカラー）をサポートします。Fogra Process Standard Digital (PSD) ハンドブック 2022 の基準および許容値定義に従いカラー精度を検証します。
- PSD 許容値設定と Fogra G7 編集が制限されるようになりました。

## 修正された問題

### 30 日を超えるカスタム日付範囲を定義できない

履歴およびトレンド > カスタム範囲では、30 日を超える日付範囲を選択して検証関連の詳細を表示することはできません。

### EFI ColorGuard が応答しない

検証ワークフローをサポートしていない特定のインライン測定器に検証パッチセットを送信しようとする、EFI ColorGuard が応答しませんでした。

## 既知の問題

### Fiery Verify での結果の表示遅延

履歴ウィンドウから Fiery Verify を開くと、結果がすぐに画面に表示されませんでした。

## EFI ColorGuard デスクトップアプリケーション

### 無効なジョブのプロパティプリセット設定により、間違ったエラーメッセージが表示される

EFI ColorGuard クラウドアプリケーションで自動検証を選択してスケジュールを作成しており、スケジュールに特定のジョブのプロパティプリセット設定が含まれている場合、自動検証中にインライン測定デバイスへの接続に失敗したというメッセージが EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションに表示されることがあります。このメッセージは正しくありません。

メッセージは、インライン測定デバイスに現在のジョブプロパティのプリセット設定との互換性がないと表示する必要があります。

### 変更が EFI ColorGuard にアップロードされない

Fiery Verify で作成または編集された検証プリセットと許容値セットは、EFI ColorGuard クラウドアプリケーションにアップロードされません。

### ウェブサイトへの EFI ColorGuard デスクトップの同期化

ColorGuardWeb サイトで変更が行われた場合、EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションは同期化に 1 分かかります。デスクトップアプリケーションを更新するには、Web サイトで変更を行った後 1 分お待ちください。



# EFI ColorGuard 2022 年 1 月リリース

## システム要件

EFI ColorGuard は、<https://iq.efi.com/colorguard/>にあるクラウドアプリケーションと EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションで構成されています。

<https://iq.efi.com/colorguard/>の ColorGuard クラウドアプリケーションは、以下のブラウザをサポートしていません。

- Google Chrome
- Microsoft Edge
- Mozilla Firefox
- Safari 11 以降

ColorGuard デスクトップアプリケーションは、以下の 64 ビットオペレーティングシステムをサポートしていません。

- macOS 10.13 以降
- Microsoft Windows 7、8.1、10、11

## 修正された問題

### インライン測定器が接続できない

Mac コンピューターで、検証またはベンチマーク検証をスケジュールし、EFI ColorGuardWeb アプリケーションでインライン測定器で自動的に検証するチェックボックスを選択して EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションを開くと、インライン測定器の接続に失敗したというメッセージが表示されていました。

### Konica Minolta IQ-501 インライン測定デバイスが FieryMeasure に表示されない

IQ-501 ユニットが搭載されている Konica Minolta プリンターに接続している場合、EFI ColorGuard デスクトップアプリケーション上でスケジュールされている検証の実行中には FieryMeasure 計器リストに KM IQ-501 インライン測定デバイスが表示されないことがあります。

### 最新の Konica Minolta IQ-501 パッチがないと、自動検証オプションが表示される

IQ-501 ユニットを使用して Konica Minolta プリンターに接続すると、自動的にインライン測定器で検証するオプションが表示される場合があります。ただし、この機能は使用できません。



この問題を解決するには、最新の EFI ColorGuard クラウドアプリケーションパッチがインストールされていることを確認してください。

必要なパッチの詳細については、[EFI Communities](#) を参照してください。

## 古いバージョンの Fiery Color Profiler Suite や Fiery Command WorkStation の使用時に測定器が検出されない

Fiery Color Profiler Suite 5.0 (CPS) 以前および Fiery Command WorkStation Package 6.2 (CWS) 以前に含まれる FieryMeasure バージョンは、EFI ColorGuard と完全には互換性がありません。FieryMeasure を ColorGuard から起動して CPS または CWS を開くと、選択した測定器が検出されないことがあります。この場合、CPS や CWS を閉じてから、ColorGuard を使用してカラー検証を実行します。Fiery Color Profiler Suite 5.1 以降、および Fiery Command WorkStation Package 6.3 以降にアップデートすることをお勧めします。

## 既知の問題

### EFI ColorGuard デスクトップアプリケーション

#### 無効なジョブのプロパティプリセット設定により、間違ったエラーメッセージが表示される

EFI ColorGuard クラウドアプリケーションで自動検証を選択してスケジュールを作成しており、スケジュールに特定のジョブのプロパティプリセット設定が含まれている場合、自動検証中にインライン測定デバイスへの接続に失敗したというメッセージが EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションに表示されることがあります。このメッセージは正しくありません。

メッセージは、インライン測定デバイスに現在のジョブプロパティのプリセット設定との互換性がないと表示する必要があります。

#### 変更が EFI ColorGuard にアップロードされない

Fiery Verify で作成または編集された検証プリセットと許容値セットは、EFI ColorGuard クラウドアプリケーションにアップロードされません。

#### ウェブサイトへの EFI ColorGuard デスクトップの同期化

ColorGuardWeb サイトで変更が行われた場合、EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションは同期化に 1 分かかります。デスクトップアプリケーションを更新するには、Web サイトで変更を行った後 1 分お待ちください。



# EFI ColorGuard 2021 年 12 月リリース

## システム要件

EFI ColorGuard は、<https://iq.efi.com/colorguard/>にあるクラウドアプリケーションと EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションで構成されています。

<https://iq.efi.com/colorguard/>の ColorGuard クラウドアプリケーションは、以下のブラウザをサポートしていません。

- Google Chrome
- Microsoft Edge
- Mozilla Firefox
- Safari 11 以降

ColorGuard デスクトップアプリケーションは、以下の 64 ビットオペレーティングシステムをサポートしていません。

- macOS 10.13 以降
- Microsoft Windows 7、8.1、10、11

## 修正された問題

### 単一の検証測定に対する複数のエントリ

手動、自動またはベンチマークによる検証が完了すると、そのエントリは EFI ColorGuard Web アプリケーションと EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションで複製されている場合があります。

### 検証スケジュール作成後にダッシュボードがアップデートされませんでした

1 つ以上のスケジュールが存在する場合、スケジュール作成ボタンがダッシュボードに表示されることがあります。

## ページロード時の遅延

次のタスクを実行すると、遅延が発生する可能性があります。

- スケジュールタブで新規スケジュール作成をクリック
- 検証プリセットタブを開く
- 履歴およびトレンドタブを開く

## 履歴およびトレンドタブがロードされたときに表示される不正メッセージ

履歴およびトレンドタブを開いたときに、使用可能なデータがないというメッセージが表示されていました。

## 既知の問題

### EFI ColorGuard web アプリケーション

#### Konica Minolta IQ-501 インライン測定デバイスが FieryMeasure に表示されない

IQ-501 ユニットが搭載されている Konica Minolta プリンターに接続している場合、EFI ColorGuard デスクトップアプリケーション上でスケジュールされている検証の実行中には FieryMeasure 計器リストに KM IQ-501 インライン測定デバイスが表示されないことがあります。

#### 最新の Konica Minolta IQ-501 パッチがないと、自動検証オプションが表示される

IQ-501 ユニットを使用して Konica Minolta プリンターに接続すると、自動的にインライン測定器で検証するオプションが表示される場合があります。ただし、この機能は使用できません。

この問題を解決するには、最新の EFI ColorGuard クラウドアプリケーションパッチがインストールされていることを確認してください。

必要なパッチの詳細については、[EFI Communities](#) を参照してください。

### EFI ColorGuard デスクトップアプリケーション

#### 無効なジョブのプロパティプリセット設定により、間違ったエラーメッセージが表示される

EFI ColorGuard クラウドアプリケーションで自動検証を選択してスケジュールを作成しており、スケジュールに特定のジョブのプロパティプリセット設定が含まれている場合、自動検証中にインライン測定デバイスへの接続に失敗したというメッセージが EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションに表示されることがあります。このメッセージは正しくありません。

メッセージは、インライン測定デバイスに現在のジョブプロパティのプリセット設定との互換性がないと表示する必要があります。

## 変更が EFI ColorGuard にアップロードされない

Fiery Verify で作成または編集された検証プリセットと許容値セットは、EFI ColorGuard クラウドアプリケーションにアップロードされません。

## 古いバージョンの Fiery Color Profiler Suite や Fiery Command WorkStation の使用時に測定器が検出されない

Fiery Color Profiler Suite 5.0 (CPS) 以前および Fiery Command WorkStation Package 6.2 (CWS) 以前に含まれる FieryMeasure バージョンは、EFI ColorGuard と完全には互換性がありません。FieryMeasure を ColorGuard から起動して CPS または CWS を開くと、選択した測定器が検出されないことがあります。この場合、CPS や CWS を閉じてから、ColorGuard を使用してカラー検証を実行します。Fiery Color Profiler Suite 5.1 以降、および Fiery Command WorkStation Package 6.3 以降にアップデートすることをお勧めします。

## ウェブサイトへの EFI ColorGuard デスクトップの同期化

ColorGuardWeb サイトで変更が行われた場合、EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションは同期化に 1 分かかります。デスクトップアプリケーションを更新するには、Web サイトで変更を行った後 1 分お待ちください。



# EFI ColorGuard 2021 年 7 月リリース

## システム要件

EFI ColorGuard は、<https://iq.efi.com/colorguard/>にあるクラウドアプリケーションと EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションで構成されています。

<https://iq.efi.com/colorguard/>の ColorGuard クラウドアプリケーションは、以下のブラウザをサポートしていません。

- Google Chrome
- Microsoft Edge
- Mozilla Firefox
- Safari 11 以降

ColorGuard デスクトップアプリケーションは、以下の 64 ビットオペレーティングシステムをサポートしています。

- macOS 10.13 以降
- Microsoft Windows 7、8.1、10、11

## このリリースの新機能について

EFI ColorGuard

- 未使用のライセンスアクティベーションコードを任意のプリンターへ転送

## 既知の問題

### EFI ColorGuard web アプリケーション

#### Konica Minolta IQ-501 インライン測定デバイスが FieryMeasure に表示されない

IQ-501 ユニットが搭載されている Konica Minolta プリンターに接続している場合、EFI ColorGuard デスクトップアプリケーション上でスケジュールされている検証の実行中には FieryMeasure 計器リストに KM IQ-501 インライン測定デバイスが表示されないことがあります。

## 最新の Konica Minolta IQ-501 パッチがないと、自動検証オプションが表示される

IQ-501 ユニットを使用して Konica Minolta プリンターに接続すると、自動的にインライン測定器で検証するオプションが表示される場合があります。ただし、この機能は使用できません。

この問題を解決するには、最新の EFI ColorGuard クラウドアプリケーションパッチがインストールされていることを確認してください。

必要なパッチの詳細については、[EFI Communities](#) を参照してください。

## EFI ColorGuard デスクトップアプリケーション

### 無効なジョブのプロパティプリセット設定により、間違ったエラーメッセージが表示される

EFI ColorGuard クラウドアプリケーションで自動検証を選択してスケジュールを作成しており、スケジュールに特定のジョブのプロパティプリセット設定が含まれている場合、自動検証中にインライン測定デバイスへの接続に失敗したというメッセージが EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションに表示されることがあります。このメッセージは正しくありません。

メッセージは、インライン測定デバイスに現在のジョブプロパティのプリセット設定との互換性がないと表示する必要があります。

### 変更が EFI ColorGuard にアップロードされない

Fiery Verify で作成または編集された検証プリセットと許容値セットは、EFI ColorGuard クラウドアプリケーションにアップロードされません。

### 古いバージョンの Fiery Color Profiler Suite や Fiery Command WorkStation の使用時に測定器が検出されない

Fiery Color Profiler Suite 5.0 (CPS) 以前および Fiery Command WorkStation Package 6.2 (CWS) 以前に含まれる FieryMeasure バージョンは、EFI ColorGuard と完全には互換性がありません。FieryMeasure を ColorGuard から起動して CPS または CWS を開くと、選択した測定器が検出されないことがあります。この場合、CPS や CWS を閉じてから、ColorGuard を使用してカラー検証を実行します。Fiery Color Profiler Suite 5.1 以降、および Fiery Command WorkStation Package 6.3 以降にアップデートすることをお勧めします。

### ウェブサイトへの EFI ColorGuard デスクトップの同期化

ColorGuardWeb サイトで変更が行われた場合、EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションは同期化に 1 分かかります。デスクトップアプリケーションを更新するには、Web サイトで変更を行った後 1 分お待ちください。



# EFI ColorGuard 2021 年 4 月リリース

## システム要件

EFI ColorGuard は、<https://iq.efi.com/colorguard/>にあるクラウドアプリケーションと EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションで構成されています。

<https://iq.efi.com/colorguard/>の ColorGuard クラウドアプリケーションは、以下のブラウザをサポートしていません。

- Google Chrome
- Microsoft Edge
- Mozilla Firefox
- Safari 11 以降

ColorGuard デスクトップアプリケーションは、以下の 64 ビットオペレーティングシステムをサポートしています。

- macOS 10.13 以降
- Microsoft Windows 7、8.1、10、11

## このリリースの新機能について

### EFI ColorGuard

- G7 Colorspace および Substrate-Corrected Colorimetric Aims (SCCA) 検証のサポート
- ベンチマーク検証スケジュールの作成
- ユーザーカラー参照とパッチセットのインポート
- 未使用のライセンスアクティベーションコードの任意のプリンターへの転送

### Fiery Verify

- G7 Colorspace および Substrate-Corrected Colorimetric Aims (SCCA) 検証のサポート

## 既知の問題

### EFI ColorGuard web アプリケーション

## Konica Minolta IQ-501 インライン測定デバイスが FieryMeasure に表示されない

IQ-501 ユニットが搭載されている Konica Minolta プリンターに接続している場合、EFI ColorGuard デスクトップアプリケーション上でスケジュールされている検証の実行中には FieryMeasure 計器リストに KM IQ-501 インライン測定デバイスが表示されないことがあります。

## 最新の Konica Minolta IQ-501 パッチがないと、自動検証オプションが表示される

IQ-501 ユニットを使用して Konica Minolta プリンターに接続すると、自動的にインライン測定器で検証するオプションが表示される場合があります。ただし、この機能は使用できません。

この問題を解決するには、最新の EFI ColorGuard クラウドアプリケーションパッチがインストールされていることを確認してください。

必要なパッチの詳細については、[EFI Communities](#) を参照してください。

## EFI ColorGuard デスクトップアプリケーション

### 無効なジョブのプロパティプリセット設定により、間違ったエラーメッセージが表示される

EFI ColorGuard クラウドアプリケーションで自動検証を選択してスケジュールを作成しており、スケジュールに特定のジョブのプロパティプリセット設定が含まれている場合、自動検証中にインライン測定デバイスへの接続に失敗したというメッセージが EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションに表示されることがあります。このメッセージは正しくありません。

メッセージは、インライン測定デバイスに現在のジョブプロパティのプリセット設定との互換性がないと表示する必要があります。

### 変更が EFI ColorGuard にアップロードされない

Fiery Verify で作成または編集された検証プリセットと許容値セットは、EFI ColorGuard クラウドアプリケーションにアップロードされません。

### 古いバージョンの Fiery Color Profiler Suite や Fiery Command WorkStation の使用時に測定器が検出されない

Fiery Color Profiler Suite 5.0 (CPS) 以前および Fiery Command WorkStation Package 6.2 (CWS) 以前に含まれる FieryMeasure バージョンは、EFI ColorGuard と完全には互換性がありません。FieryMeasure を ColorGuard から起動して CPS または CWS を開くと、選択した測定器が検出されないことがあります。この場合、CPS や CWS を閉じてから、ColorGuard を使用してカラー検証を実行します。Fiery Color Profiler Suite 5.1 以降、および Fiery Command WorkStation Package 6.3 以降にアップデートすることをお勧めします。

### ウェブサイトへの EFI ColorGuard デスクトップの同期化

ColorGuardWeb サイトで変更が行われた場合、EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションは同期化に 1 分かかります。デスクトップアプリケーションを更新するには、Web サイトで変更を行った後 1 分お待ちください。





# EFI ColorGuard2020 年 11 月リリース

## システム要件

EFI ColorGuard は、<https://iq.efi.com/colorguard/>にあるクラウドアプリケーションと EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションで構成されています。

<https://iq.efi.com/colorguard/>の ColorGuard クラウドアプリケーションは、以下のブラウザをサポートしていません。

- Google Chrome
- Microsoft Edge
- Mozilla Firefox
- Safari 11 以降

ColorGuard デスクトップアプリケーションは、以下の 64 ビットオペレーティングシステムをサポートしています。

- macOS 10.13 以降
- Microsoft Windows 7、8.1、10、11

## このリリースの新機能について

EFI ColorGuard

- ショップダッシュボードからライセンスマネージャにアクセスします。
- オンボーディングワークフローが更新されました。

## 修正された問題

### EFI ColorGuard デスクトップアプリケーション

#### EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションがアクティブなウィンドウとして開かない

Mac OS クライアントコンピューターで、メニューバーの EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションアイコンをクリックして、ドロップダウンリストから EFI ColorGuard を開くを選択した場合、アプリケーションがアクティブウィンドウとして開かないことがあります。ウィンドウが最小化されているか、他のウィンドウの背後に隠れている可能性があります。

## 既知の問題

### EFI ColorGuard web アプリケーション

#### Konica Minolta IQ-501 インライン測定デバイスが FieryMeasure に表示されない

IQ-501 ユニットが搭載されている Konica Minolta プリンターに接続している場合、EFI ColorGuard デスクトップアプリケーション上でスケジュールされている検証の実行中には FieryMeasure 計器リストに KM IQ-501 インライン測定デバイスが表示されないことがあります。

#### 最新の Konica Minolta IQ-501 パッチがないと、自動検証オプションが表示される

IQ-501 ユニットを使用して Konica Minolta プリンターに接続すると、自動的にインライン測定器で検証するオプションが表示される場合があります。ただし、この機能は使用できません。

この問題を解決するには、最新の EFI ColorGuard クラウドアプリケーションパッチがインストールされていることを確認してください。

必要なパッチの詳細については、[EFI Communities](#) を参照してください。

### EFI ColorGuard デスクトップアプリケーション

#### 無効なジョブのプロパティプリセット設定により、間違ったエラーメッセージが表示される

EFI ColorGuard クラウドアプリケーションで自動検証を選択してスケジュールを作成しており、スケジュールに特定のジョブのプロパティプリセット設定が含まれている場合、自動検証中にインライン測定デバイスへの接続に失敗したというメッセージが EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションに表示されることがあります。このメッセージは正しくありません。

メッセージは、インライン測定デバイスに現在のジョブプロパティのプリセット設定との互換性がないと表示する必要があります。

#### 変更が EFI ColorGuard にアップロードされない

Fiery Verify で作成または編集された検証プリセットと許容値セットは、EFI ColorGuard クラウドアプリケーションにアップロードされません。

#### 古いバージョンの Fiery Color Profiler Suite や Fiery Command WorkStation の使用時に測定器が検出されない

Fiery Color Profiler Suite 5.0 (CPS) 以前および Fiery Command WorkStation Package 6.2 (CWS) 以前に含まれる FieryMeasure バージョンは、EFI ColorGuard と完全には互換性がありません。FieryMeasure を ColorGuard から起動して CPS または CWS を開くと、選択した測定器が検出されないことがあります。この場合、CPS や CWS を閉じてから、ColorGuard を使用してカラー検証を実行します。Fiery Color Profiler Suite 5.1 以降、および Fiery Command WorkStation Package 6.3 以降にアップデートすることをお勧めします。

## ウェブサイトへの EFI ColorGuard デスクトップの同期化

ColorGuardWeb サイトで変更が行われた場合、EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションは同期化に 1 分かかります。デスクトップアプリケーションを更新するには、Web サイトで変更を行った後 1 分お待ちください。



# EFI ColorGuard 2020 年 8 月リリース

## システム要件

EFI ColorGuard は、<https://iq.efi.com/colorguard/>にあるクラウドアプリケーションと EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションで構成されています。

<https://iq.efi.com/colorguard/>の ColorGuard クラウドアプリケーションは、以下のブラウザをサポートしていません。

- Google Chrome
- Microsoft Edge
- Mozilla Firefox
- Safari 11 以降

ColorGuard デスクトップアプリケーションは、以下の 64 ビットオペレーティングシステムをサポートしています。

- macOS 10.13 以降
- Microsoft Windows 7、8.1、10、11

## このリリースの新機能について

### ColorGuard

- 自動インライン測定検証のサポート
- アップデートされたショップダッシュボード
- アップデートされた履歴タブのトレンドセクション
- G7 グレースケールおよび G7 ターゲット検証のサポート

### Fiery Verify

- G7 グレースケールおよび G7 ターゲット検証のサポート

## 修正された問題

### macOS でキャンセル後すぐに再キャリブレートすると、Calibrator 3 が終了する

スケジュールされたキャリブレーションセッションをキャンセルした直後に再キャリブレートを試みると、Calibrator 3 の macOS バージョンが予期せず終了します。この問題は、Konica Minolta のデバイスに限定されます。

回避策として、最大 30 秒待ってから再キャリブレートを行います。

### macOS 10.15 システムへの Konica Minolta FD-9 USB 接続

Konica Minolta FD-9 では、USB ケーブルで macOS 10.15 システムに接続されている場合、パッチページを測定できません。イーサネットケーブルを使用して、KM FD-9 を macOS 10.15 システムに接続してパッチページを測定します。

### Color Profiler Suite 5.1.x をアンインストールすると起動エラーが発生する

Color Profiler Suite 5.1.x (CPS) と EFI ColorGuard を実行しているシステムの場合、CPS 5.1.x をアンインストールすると ColorGuard を起動できなくなります。カスタム検証プリセット、カスタム許容値セット、インポートされたカラーリファレンス、またはインポートされたパッチセットは、Fiery Verify から削除されます。機能を復元するには、CPS をアンインストールしてから、ColorGuard デスクトップアプリケーションを再インストールします。この問題を回避するには、CPS 5.1.x から CPS 5.2 以降にアップグレードします。

### プレキャリブレーションセットがキャリブレーションセットで表示される

プレキャリブレーション手順を含むキヤノンデバイスを再キャリブレートすると、選択したキャリブレーションセットのリストにプレキャリブレーションセットが含まれることがあります。自動色ずれ補正、自動諧調補正 - フル、自動諧調補正 - クイック、および濃度ムラ補正という名前のキャリブレーションセットを無視します。

## 既知の問題

### EFI ColorGuard web アプリケーション

#### Konica Minolta IQ-501 インライン測定デバイスが FieryMeasure に表示されない

IQ-501 ユニットが搭載されている Konica Minolta プリンターに接続している場合、EFI ColorGuard デスクトップアプリケーション上でスケジュールされている検証の実行中には FieryMeasure 計器リストに KM IQ-501 インライン測定デバイスが表示されないことがあります。

#### 最新の Konica Minolta IQ-501 パッチがないと、自動検証オプションが表示される

IQ-501 ユニットを使用して Konica Minolta プリンターに接続すると、自動的にインライン測定器で検証するオプションが表示される場合があります。ただし、この機能は使用できません。

この問題を解決するには、最新の EFI ColorGuard クラウドアプリケーションパッチがインストールされていることを確認してください。

必要なパッチの詳細については、[EFI Communities](#) を参照してください。

## Internet Explorer 11 に関する問題

ColorGuard クラウドアプリケーションワークフローによっては、Internet Explorer 11 で機能しません。たとえば、検証スケジュールページが正しくロードされない、ページ要素が不適切に表示されるといった問題が生じます。別のブラウザを使用することで、こうした問題を回避できます。

## EFI ColorGuard デスクトップアプリケーション

### 無効なジョブのプロパティプリセット設定により、間違ったエラーメッセージが表示される

EFI ColorGuard クラウドアプリケーションで自動検証を選択してスケジュールを作成しており、スケジュールに特定のジョブのプロパティプリセット設定が含まれている場合、自動検証中にインライン測定デバイスへの接続に失敗したというメッセージが EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションに表示されることがあります。このメッセージは正しくありません。

メッセージは、インライン測定デバイスに現在のジョブプロパティのプリセット設定との互換性がないと表示する必要があります。

### EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションがアクティブなウィンドウとして開かない

Mac OS クライアントコンピューターで、メニューバーの EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションアイコンをクリックして、ドロップダウンリストから EFI ColorGuard を開くを選択した場合、アプリケーションがアクティブウィンドウとして開かないことがあります。ウィンドウが最小化されているか、他のウィンドウの背後に隠れている可能性があります。

### 変更が EFI ColorGuard にアップロードされない

Fiery Verify で作成または編集された検証プリセットと許容値セットは、EFI ColorGuard クラウドアプリケーションにアップロードされません。

### 古いバージョンの Fiery Color Profiler Suite や Fiery Command WorkStation の使用時に測定器が検出されない

Fiery Color Profiler Suite 5.0 (CPS) 以前および Fiery Command WorkStation Package 6.2 (CWS) 以前に含まれる FieryMeasure バージョンは、EFI ColorGuard と完全には互換性がありません。FieryMeasure を ColorGuard から起動して CPS または CWS を開くと、選択した測定器が検出されないことがあります。この場合、CPS や CWS を閉じてから、ColorGuard を使用してカラー検証を実行します。Fiery Color Profiler Suite 5.1 以降、および Fiery Command WorkStation Package 6.3 以降にアップデートすることをお勧めします。

### ウェブサイトへの EFI ColorGuard デスクトップの同期化

ColorGuardWeb サイトで変更が行われた場合、EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションは同期化に 1 分かかります。デスクトップアプリケーションを更新するには、Web サイトで変更を行った後 1 分お待ちください。



# EFI ColorGuard 2020 年 3 月リリース

## システム要件

EFI ColorGuard は、<https://iq.efi.com/colorguard/>にあるクラウドアプリケーションと EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションで構成されています。

<https://iq.efi.com/colorguard/>の ColorGuard クラウドアプリケーションは、以下のブラウザをサポートしていません。

- Google Chrome
- Microsoft Edge
- Mozilla Firefox
- Safari 11 以降

ColorGuard デスクトップアプリケーションは、以下の 64 ビットオペレーティングシステムをサポートしています。

- macOS 10.13 以降
- Microsoft Windows 7、8.1、10、11

## このリリースの新機能について

### ColorGuard

- E メール警告からのサブスクリプションの解除
- 検証プリセット、カラーリファレンス、許容値設定またはパッチセットファイルの名前の変更または削除
- ジョブプロパティプリセットのカラー情報の表示

### Fiery Verify

- 単一パッチ測定用の EFI ES-3000 および追加の携帯型測定器のサポート
- 単一パッチ測定の測定モードの選択

## 修正された問題

### EFI ColorGuard web アプリケーション

## カスタム許容値セットを削除できない

ColorGuard クラウドアプリケーションは、作成した許容値セットの削除または名前の変更をサポートしていません。

## 既知の問題

### EFI ColorGuard web アプリケーション

#### Internet Explorer 11 に関する問題

ColorGuard クラウドアプリケーションワークフローによっては、Internet Explorer 11 で機能しません。たとえば、検証スケジュールページが正しくロードされない、ページ要素が不適切に表示されるといった問題が生じます。別のブラウザを使用することで、こうした問題を回避できます。

### EFI ColorGuard デスクトップアプリケーション

#### EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションがアクティブなウィンドウとして開かない

Mac OS クライアントコンピューターで、メニューバーの EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションアイコンをクリックして、ドロップダウンリストから EFI ColorGuard を開くを選択した場合、アプリケーションがアクティブウィンドウとして開かないことがあります。ウィンドウが最小化されているか、他のウィンドウの背後に隠れている可能性があります。

#### macOS でキャンセル後すぐに再キャリブレートすると、Calibrator 3 が終了する

スケジュールされたキャリブレーションセッションをキャンセルした直後に再キャリブレートを試みると、Calibrator 3 の macOS バージョンが予期せず終了します。この問題は、Konica Minolta のデバイスに限定されます。

回避策として、最大 30 秒待ってから再キャリブレートを行います。

#### macOS 10.15 システムへの Konica Minolta FD-9 USB 接続

Konica Minolta FD-9 では、USB ケーブルで macOS 10.15 システムに接続されている場合、パッチページを測定できません。イーサネットケーブルを使用して、KM FD-9 を macOS 10.15 システムに接続してパッチページを測定します。

#### 変更が EFI ColorGuard にアップロードされない

Fiery Verify で作成または編集された検証プリセットと許容値セットは、EFI ColorGuard クラウドアプリケーションにアップロードされません。

#### 古いバージョンの Fiery Color Profiler Suite や Fiery Command WorkStation の使用時に測定器が検出されない

Fiery Color Profiler Suite 5.0 (CPS) 以前および Fiery Command WorkStation Package 6.2 (CWS) 以前に含まれる FieryMeasure バージョンは、EFI ColorGuard と完全には互換性がありません。FieryMeasure を ColorGuard から



起動して CPS または CWS を開くと、選択した測定器が検出されないことがあります。この場合、CPS や CWS を閉じてから、ColorGuard を使用してカラー検証を実行します。Fiery Color Profiler Suite 5.1 以降、および Fiery Command WorkStation Package 6.3 以降にアップデートすることをお勧めします。

### Color Profiler Suite 5.1.x をアンインストールすると起動エラーが発生する

Color Profiler Suite 5.1.x (CPS) と EFI ColorGuard を実行しているシステムの場合、CPS 5.1.x をアンインストールすると ColorGuard を起動できなくなります。カスタム検証プリセット、カスタム許容値セット、インポートされたカラーリファレンス、またはインポートされたパッチセットは、Fiery Verify から削除されます。機能を復元するには、CPS をアンインストールしてから、ColorGuard デスクトップアプリケーションを再インストールします。この問題を回避するには、CPS 5.1.x から CPS 5.2 以降にアップグレードします。

### ウェブサイトへの EFI ColorGuard デスクトップの同期化

ColorGuardWeb サイトで変更が行われた場合、EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションは同期化に 1 分かかります。デスクトップアプリケーションを更新するには、Web サイトで変更を行った後 1 分お待ちください。

### プレキャリブレーションセットがキャリブレーションセットで表示される

プレキャリブレーション手順を含むキヤノンデバイスを再キャリブレートすると、選択したキャリブレーションセットのリストにプレキャリブレーションセットが含まれることがあります。自動色ずれ補正、自動諧調補正 - フル、自動諧調補正 - クイック、および濃度ムラ補正という名前のキャリブレーションセットを無視します。



# EFI ColorGuard 2019 年 12 月リリース

## システム要件

EFI ColorGuard は、<https://iq.efi.com/colorguard/>にあるクラウドアプリケーションと EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションで構成されています。

<https://iq.efi.com/colorguard/>の ColorGuard クラウドアプリケーションは、以下のブラウザをサポートしていません。

- Google Chrome
- Microsoft Edge
- Mozilla Firefox
- Safari 11 以降

ColorGuard デスクトップアプリケーションは、以下の 64 ビットオペレーティングシステムをサポートしていません。

- macOS 10.13 以降
- Microsoft Windows 7、8.1、10、11

## 既知の問題

### EFI ColorGuard web アプリケーション

#### カスタム許容値セットを削除できない

ColorGuard クラウドアプリケーションは、作成した許容値セットの削除または名前の変更をサポートしていません。

#### Internet Explorer 11 に関する問題

ColorGuard クラウドアプリケーションワークフローによっては、Internet Explorer 11 で機能しません。たとえば、検証スケジュールページが正しくロードされない、ページ要素が不適切に表示されるといった問題が生じます。別のブラウザを使用することで、こうした問題を回避できます。

### EFI ColorGuard デスクトップアプリケーション

## macOS でキャンセル後すぐに再キャリブレートすると、Calibrator 3 が終了する

スケジュールされたキャリブレーションセッションをキャンセルした直後に再キャリブレートを試みると、Calibrator 3 の macOS バージョンが予期せず終了します。この問題は、Konica Minolta のデバイスに限定されます。

回避策として、最大 30 秒待ってから再キャリブレートを行います。

## macOS 10.15 システムへの Konica Minolta FD-9 USB 接続

Konica Minolta FD-9 では、USB ケーブルで macOS 10.15 システムに接続されている場合、パッチページを測定できません。イーサネットケーブルを使用して、KM FD-9 を macOS 10.15 システムに接続してパッチページを測定します。

## 変更が EFI ColorGuard にアップロードされない

Fiery Verify で作成または編集された検証プリセットと許容値セットは、EFI ColorGuard クラウドアプリケーションにアップロードされません。

## 古いバージョンの Fiery Color Profiler Suite や Fiery Command WorkStation の使用時に測定器が検出されない

Fiery Color Profiler Suite 5.0 (CPS) 以前および Fiery Command WorkStation Package 6.2 (CWS) 以前に含まれる FieryMeasure バージョンは、EFI ColorGuard と完全には互換性がありません。FieryMeasure を ColorGuard から起動して CPS または CWS を開くと、選択した測定器が検出されないことがあります。この場合、CPS や CWS を閉じてから、ColorGuard を使用してカラー検証を実行します。Fiery Color Profiler Suite 5.1 以降、および Fiery Command WorkStation Package 6.3 以降にアップデートすることをお勧めします。

## Color Profiler Suite 5.1.x をアンインストールすると起動エラーが発生する

Color Profiler Suite 5.1.x (CPS) と EFI ColorGuard を実行しているシステムの場合、CPS 5.1.x をアンインストールすると ColorGuard を起動できなくなります。カスタム検証プリセット、カスタム許容値セット、インポートされたカラーリファレンス、またはインポートされたパッチセットは、Fiery Verify から削除されます。機能を復元するには、CPS をアンインストールしてから、ColorGuard デスクトップアプリケーションを再インストールします。この問題を回避するには、CPS 5.1.x から CPS 5.2 以降にアップグレードします。

## ウェブサイトへの EFI ColorGuard デスクトップの同期化

ColorGuardWeb サイトで変更が行われた場合、EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションは同期化に 1 分かかります。デスクトップアプリケーションを更新するには、Web サイトで変更を行った後 1 分お待ちください。

## プレキャリブレーションセットがキャリブレーションセットで表示される

プレキャリブレーション手順を含むキヤノンデバイスを再キャリブレートすると、選択したキャリブレーションセットのリストにプレキャリブレーションセットが含まれることがあります。自動色ずれ補正、自動諧調補正-フル、自動諧調補正-クイック、および濃度ムラ補正という名前のキャリブレーションセットを無視します。



# EFI ColorGuard2019 年 10 月リリース

## システム要件

EFI ColorGuard は、<https://iq.efi.com/colorguard/>にあるクラウドアプリケーションと EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションで構成されています。

<https://iq.efi.com/colorguard/>の ColorGuard クラウドアプリケーションは、以下のブラウザをサポートしていません。

- Google Chrome
- Microsoft Edge
- Mozilla Firefox
- Safari 11 以降

ColorGuard デスクトップアプリケーションは、以下の 64 ビットオペレーティングシステムをサポートしています。

- macOS 10.13 以降
- Microsoft Office 7、8.1、10

## このリリースの新機能について

### ColorGuard

- スケジュールされている再キャリブレーション
- 店舗の概要
- 以前の測定値をカラーリファレンスとして保存する

### Fiery Verify

- 印刷可能な検証ラベル
- 携帯型測定器を使用した単一パッチ測定
- .icc ファイルエクステンションをサポートする
- FieryMeasure 統合を使用してリファレンスとサンプルを測定する

## 既知の問題

### EFI ColorGuard web アプリケーション

#### カスタム許容値セットを削除できない

ColorGuard クラウドアプリケーションは、作成した許容値セットの削除または名前の変更をサポートしていません。

#### Internet Explorer 11 に関する問題

ColorGuard クラウドアプリケーションワークフローによっては、Internet Explorer 11 で機能しません。たとえば、検証スケジュールページが正しくロードされない、ページ要素が不適切に表示されるといった問題が生じます。別のブラウザを使用することで、こうした問題を回避できます。

### EFI ColorGuard デスクトップアプリケーション

#### macOS 10.15 システムへの Konica Minolta FD-9 USB 接続

Konica Minolta FD-9 では、USB ケーブルで macOS 10.15 システムに接続されている場合、パッチページを測定できません。イーサネットケーブルを使用して、KM FD-9 を macOS 10.15 システムに接続してパッチページを測定します。

#### 変更が EFI ColorGuard にアップロードされない

Fiery Verify で作成または編集された検証プリセットと許容値セットは、EFI ColorGuard クラウドアプリケーションにアップロードされません。

#### 古いバージョンの Fiery Color Profiler Suite や Fiery Command WorkStation の使用時に測定器が検出されない

Fiery Color Profiler Suite 5.0 (CPS) 以前および Fiery Command WorkStation Package 6.2 (CWS) 以前に含まれる FieryMeasure バージョンは、EFI ColorGuard と完全には互換性がありません。FieryMeasure を ColorGuard から起動して CPS または CWS を開くと、選択した測定器が検出されないことがあります。この場合、CPS や CWS を閉じてから、ColorGuard を使用してカラー検証を実行します。Fiery Color Profiler Suite 5.1 以降、および Fiery Command WorkStation Package 6.3 以降にアップデートすることをお勧めします。

#### Color Profiler Suite 5.1.x をアンインストールすると起動エラーが発生する

Color Profiler Suite 5.1.x (CPS) と EFI ColorGuard を実行しているシステムの場合、CPS 5.1.x をアンインストールすると ColorGuard を起動できなくなります。カスタム検証プリセット、カスタム許容値セット、インポートされたカラーリファレンス、またはインポートされたパッチセットは、Fiery Verify から削除されます。機能を復元するには、CPS をアンインストールしてから、ColorGuard デスクトップアプリケーションを再インストールします。この問題を回避するには、CPS 5.1.x から CPS 5.2 以降にアップグレードします。

## ウェブサイトへの EFI ColorGuard デスクトップの同期化

ColorGuardWeb サイトで変更が行われた場合、EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションは同期化に 1 分かかります。デスクトップアプリケーションを更新するには、Web サイトで変更を行った後 1 分お待ちください。

## プレキャリブレーションセットがキャリブレーションセットで表示される

プレキャリブレーション手順を含むキヤノンデバイスを再キャリブレートすると、選択したキャリブレーションセットのリストにプレキャリブレーションセットが含まれることがあります。自動色ずれ補正、自動諧調補正 - フル、自動諧調補正 - クイック、および濃度ムラ補正という名前のキャリブレーションセットを無視します。



# EFI ColorGuard2019 年 6 月リリース

## システム要件

EFI ColorGuard は、<https://iq.efi.com/colorguard/>のクラウドアプリケーションと EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションで構成されています。

<https://iq.efi.com/colorguard/>の EFI ColorGuard クラウドアプリケーションは、以下のブラウザをサポートしています。

- Google Chrome
- Microsoft Edge
- Mozilla Firefox
- Safari 11 以降

EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションは、以下の 64 ビットオペレーティングシステムをサポートしています。

- macOS 10.13 以降
- Microsoft Office 7、8.1、10

## このリリースの新機能について

ColorGuard のこのバージョンには、新機能が導入されています。

- **今すぐ確認:**新しいスケジュール検証を作成せずに、すぐにデバイスの検証を要求します。
- **EFI ColorGuard デスクトップアプリケーション v1.1**

## 修正された問題

### EFI ColorGuard デスクトップアプリケーション

#### 重複する検証プリセットが表示される

Fiery Verify では、重複する検証プリセットが表示される場合があります。重複する検証プリセットは、ColorGuard アカウントからインポートされ、機能的に同じになります。

## 重複する許容値セットが表示される

Fiery Verify には、重複する許容値セットが表示される場合があります。重複する許容値セットは、ColorGuard アカウントからインポートされ、機能的に同じになります。

## サポートされているインライン測定器のパッチページを印刷する際にエラーが発生する

EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションでは、サポートされているインライン測定デバイスで使用するパッチページを印刷しようとする、FieryMeasure モジュールが動作しなくなります。その他のサポートされている測定器はすべて、FieryMeasure で期待どおりに動作します。

## 2バイト文字が正しく表示されない

EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションでは、許容値セット名または検証プリセット名で2バイト文字を使用すると正しく表示されません。許容値セット名または検証プリセット名で2バイト文字を使用しないようにしてください。

## 2バイト文字を使用すると検証ワークフローが妨げられる

EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションでは、許容値設定名または検証プリセット名で2バイト文字が使用されていると、検証ワークフローを完了できません。許容値セット名または検証プリセット名で2バイト文字を使用しないようにしてください。

## サポートされているインライン測定器のパッチページを印刷する際にエラーが発生する

EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションでは、サポートされているインライン測定デバイスで使用するパッチページを印刷しようとする、FieryMeasure モジュールが動作しなくなります。その他のサポートされている測定器はすべて、FieryMeasure で期待どおりに動作します。

## 既知の問題

### EFI ColorGuard web アプリケーション

#### カスタム許容値セットを削除できない

ColorGuard クラウドアプリケーションは、作成した許容値セットの削除または名前の変更をサポートしていません。

#### Internet Explorer 11 に関する問題

ColorGuard クラウドアプリケーションワークフローによっては、Internet Explorer 11 で機能しません。たとえば、検証スケジュールページが正しくロードされない、ページ要素が不適切に表示されるといった問題が生じます。別のブラウザを使用することで、こうした問題を回避できます。

### EFI ColorGuard デスクトップアプリケーション



## 古いバージョンの Fiery Color Profiler Suite や Fiery Command WorkStation の使用時に測定器が検出されない

Fiery Color Profiler Suite 5.0 (CPS) 以前および Fiery Command WorkStation Package 6.2 (CWS) 以前に含まれる FieryMeasure バージョンは、EFI ColorGuard と完全には互換性がありません。FieryMeasure を ColorGuard から起動して CPS または CWS を開くと、選択した測定器が検出されないことがあります。この場合、CPS や CWS を閉じてから、ColorGuard を使用してカラー検証を実行します。Fiery Color Profiler Suite 5.1 以降、および Fiery Command WorkStation Package 6.3 以降にアップデートすることをお勧めします。

## 変更が EFI ColorGuard にアップロードされない

Fiery Verify で作成または編集された検証プリセットと許容値セットは、EFI ColorGuard クラウドアプリケーションにアップロードされません。

## Mac でデスクトップ通知が非アクティブになる

Mac OS の場合、EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションを中止すると通知が停止します。

## Color Profiler Suite 5.1.x をアンインストールすると起動エラーが発生する

Color Profiler Suite 5.1.x (CPS) と EFI ColorGuard を実行しているシステムの場合、CPS 5.1.x をアンインストールすると ColorGuard を起動できなくなります。カスタム検証プリセット、カスタム許容値セット、インポートされたカラーリファレンス、またはインポートされたパッチセットは、Fiery Verify から削除されます。機能を復元するには、CPS をアンインストールしてから、ColorGuard デスクトップアプリケーションを再インストールします。この問題を回避するには、CPS 5.1.x から CPS 5.2 以降にアップグレードします。



# EFI ColorGuard2019 年 4 月リリース

## システム要件

EFI ColorGuard は、<https://iq.efi.com/colorguard/>にあるクラウドアプリケーションと EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションで構成されています。

<https://iq.efi.com/colorguard/>の EFI ColorGuard クラウドアプリケーションは、以下のブラウザをサポートしています。

- Google Chrome
- Microsoft Edge
- Mozilla Firefox
- Safari 11 以降

EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションは、以下の 64 ビットオペレーティングシステムをサポートしています。

- macOS 10.13 以降
- Microsoft Office 7、8.1、10

## 既知の問題

### EFI ColorGuard web アプリケーション

#### カスタム許容値セットを削除できない

ColorGuard クラウドアプリケーションは、作成した許容値セットの削除または名前の変更をサポートしていません。

#### Internet Explorer 11 に関する問題

ColorGuard クラウドアプリケーションワークフローによっては、Internet Explorer 11 で機能しません。たとえば、検証スケジュールページが正しくロードされない、ページ要素が不適切に表示されるといった問題が生じます。別のブラウザを使用することで、こうした問題を回避できます。

### EFI ColorGuard デスクトップアプリケーション

## 重複する検証プリセットが表示される

Fiery Verify では、重複する検証プリセットが表示される場合があります。重複する検証プリセットは、ColorGuard アカウントからインポートされ、機能的に同じになります。

## 重複する許容値セットが表示される

Fiery Verify には、重複する許容値セットが表示される場合があります。重複する許容値セットは、ColorGuard アカウントからインポートされ、機能的に同じになります。

## 変更が EFI ColorGuard にアップロードされない

Fiery Verify で作成または編集された検証プリセットと許容値セットは、EFI ColorGuard クラウドアプリケーションにアップロードされません。

## Mac でデスクトップ通知が非アクティブになる

Mac OS の場合、EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションを中止すると通知が停止します。

## サポートされているインライン測定器のパッチページを印刷する際にエラーが発生する

EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションでは、サポートされているインライン測定デバイスで使用するパッチページを印刷しようとする、FieryMeasure モジュールが動作しなくなります。その他のサポートされている測定器はすべて、FieryMeasure で期待どおりに動作します。

## Color Profiler Suite 5.1.x をアンインストールすると起動エラーが発生する

Color Profiler Suite 5.1.x (CPS) と EFI ColorGuard を実行しているシステムの場合、CPS 5.1.x をアンインストールすると ColorGuard を起動できなくなります。カスタム検証プリセット、カスタム許容値セット、インポートされたカラーリファレンス、またはインポートされたパッチセットは、Fiery Verify から削除されます。機能を復元するには、CPS をアンインストールしてから、ColorGuard デスクトップアプリケーションを再インストールします。この問題を回避するには、CPS 5.1.x から CPS 5.2 以降にアップグレードします。

## 2バイト文字が正しく表示されない

EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションでは、許容値セット名または検証プリセット名で2バイト文字を使用すると正しく表示されません。許容値セット名または検証プリセット名で2バイト文字を使用しないようにしてください。

## 2バイト文字を使用すると検証ワークフローが妨げられる

EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションでは、許容値設定名または検証プリセット名で2バイト文字が使用されていると、検証ワークフローを完了できません。許容値セット名または検証プリセット名で2バイト文字を使用しないようにしてください。

